

熊本市 感染症発生動向調査 速報

キャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

マダニから身を守りましょう！

マダニに咬まれることで、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど肌の露出を少なくする。

長袖・長ズボン等を着用し、シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにする。



マダニを目視で確認しやすいように、明るい色の服を着る。

サンダルなどは避け、足を完全に覆う靴を履く。

屋外活動後、シャワーや入浴の際はマダニに咬まれていないか確認する。

マダニに咬まれたときは・・・

吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科などの医療機関で、マダニの除去や消毒などをしてもらいましょう。マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状がある場合は医療機関で診察を受けましょう。

定点種別	疾患名	状況	22週(5/27~6/2)		23週(6/3~6/9)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
COVID-19	インフルエンザ	—	19	0.76	14	0.56
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	86	3.44	99	3.96
小児科	RSウイルス感染症	/	9	0.56	18	1.13
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	7	0.44	8	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	109	6.81	159	9.94
	感染性胃腸炎	—	61	3.81	114	7.13
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.06	8	0.50
	手足口病	—	36	2.25	42	2.63
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	7	0.44	14	0.88
	ヘルパンギーナ	—	9	0.56	11	0.69
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.06	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	7	1.40	4	0.80
基幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
 ○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし